



Monthly

さいがただより

National Hospital Organization Saigata Medical Center

2021年6月 Vol.34



笹ヶ峰清水ヶ池より望む妙高山

発行：独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター 院長 下村 登規夫 <https://saigata.hosp.go.jp/>
〒949-3193 新潟県上越市大潟区犀潟 468-1 TEL:025-534-3131 FAX:025-534-4824

〈基本理念〉「良い医療を安全に、心をこめて」

医療はどこへ向かおうとしているのか

院長 下村 登規夫

さいがた医療センター院長の下村登規夫です。コロナ禍の中で変異型ウイルスの種類は増える一方である。コロナとの戦いに終止符を打つべく開発されたワクチンは、どこまで防衛力を発揮してくれるのか。期待は高まっている。

さて、コロナ禍に苦しんでいる間に、医療は別の面でも歩みを進めている。脊髄性筋萎縮症の治療薬は日本円で約2億円という価格で、世界の注目を受けながら、投与が行われた。つぎには、アルツハイマー型認知症の治療薬が承認され、数百万で治療を行うことができるという。頭痛の治療薬も初回8万円、次からは月1回4万円という治療薬も発売された。当院でも、特殊な病気に2週間に1回120万円、別の病気では、2週間に1回240万円という価格の薬が投与される時代になってきていた。このような、価格は特殊な抗がん剤などで100万円前後のものが多かった時代を一気に飛び越えた価格である。神経難病の一部はこうして治療が可能になったものもある。ただ、高額医療だけが、人命を救うものではないはずである。

異なる動きもある。医療は発展し、内服薬から貼付薬へとシフトしているようにも感じられる。これは、超高齢化社会に向かって、経口摂取に問題が出てくる可能性が大きいからである。内服できない患者さんのために、皮膚からの薬の吸収を考える。これまでは、湿布薬しかなかった時代から、今ではパーキンソン病の薬をはじめとして、認知症、高血圧、統合失調症、局所麻酔薬、鎮痛薬、麻薬から抗アレルギー薬までほとんどの医療分野で貼付薬は活躍している。特に神経難病の患者さんは、貼付薬の恩恵にあずかっているといっても過言ではないであろう。一つは、皮膚からの薬の吸収であるので、飲み込むことができない患者さんにも投与できることである。注射薬は注射した時点で、内服薬は飲んでしまえばどうしようもない。ところが、貼付薬は、はがすことで、途中で投与を中止できるというメリットがある。もちろん、肌荒れという大きなデメリットは否定できないが、今後も経皮吸収という分野は発展すると考えている。さらに、これまでパーキンソン病の薬として使われてきた薬が、別の難病に有効である可能性も引き出そうとされている。既存薬の応用の一つであると期待できる。

貼付薬の発展や既存薬の難病治療への応用の重要性に気づいて役立てていただきたい。高額医療も花形ではあるが、貼付薬や既存薬の応用など難病の治療の発展に応用できることを願ってやまない。

さいがたセミナーのご案内

参加無料 どなたでも参加できます。どうぞふるってご参加ください。

日時・会場 2021年7月19日(月) 14:00～

国立病院機構さいがた医療センター 管理棟2階講堂

講演テーマ 「薬物依存問題のある人の家族支援」

国立大学法人宇都宮大学地域デザイン科学部

コミュニティデザイン学科助教 安高 真弓 先生

研修詳細はQRコードから
ご確認ください。▼

講演会動画 NEW

過去の講演会・研修会の動画は、YouTube さいがた医療センター公式チャンネル
「SAI-チャンネル:さいがた医療センター」からご覧いただけます。



「独立行政法人 国立病院機構 さいがた医療センター」

さいがた医療センターで提供している医療

当センターでは各診療科の専門性を活かしつつ、全人的医療を提供しています。

精神科

- 新潟県依存症専門医療機関・治療拠点機関として、依存症全般(アルコール、薬物、ギャンブル、ゲーム・インターネット等)の診療、および認知行動療法、ヨガ、スポーツ、筋トレ、アロマ、女性プログラムなど様々な治療プログラムを提供しています。
- 精神科急性期医療だけではなく、治療抵抗性統合失調症に対してクロザピンの治療を行っています。上越地域で唯一クロザピンの使用が認められている医療機関です。
- 修正型電気けいれん療法(mECT)を行っています。
- 精神科デイケア・訪問看護ステーションで地域での暮らしを支援しています。
- クロザピンの治療状況…令和3年5月 新規1例、累計53例

脳神経内科

- 主にパーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、筋委縮性側索硬化症の薬物調整・リハビリテーション目的の入院を受け入れています。
- スピラザ(ヌシネルセン)を用いた脊髄性筋委縮症治療を行っています。
- 難病デイケアは、身体機能の維持・向上だけではなく、仲間づくりも支援をしています。
- 神経難病医療…空床情報：6月17日現在 8床

重症心身障がい児(者)

- 一人ひとりのQOLの向上を考え、より豊かな生活となるよう環境づくりを行っています。
- 在宅の重症心身障がい児(者)のショートステイを受け入れています。
- ショートステイ…利用状況：5月延べ 40日

特殊外来

- 頭痛、慢性疲労、睡眠時無呼吸、セカンドオピニオン、脳ドック、ボトックス治療があります。

共同利用

- MRI(1.5T)、CT(80列)、RI、脳波・神経伝達装置、超音波検査をご利用いただけます。
5月実績 MRI 8件、CT 1件、SPECT 0件

さいがた医療センター 地域医療連携室からのお知らせ

地域の医療機関や関係機関の皆様との連携を一層深め、受診手続きの簡素化や双方向の診療情報の迅速な提供など、患者様の意向に沿ったより質の高い地域医療の展開を目指してまいります。

初診や入院、共同利用についてのご相談は、地域医療連携室にお気軽にお問合せください。



地域医療連携室HP

地域医療連携室 連絡先 TEL 025-534-6735 (直通)
FAX 025-534-6851
E-mail 226-saigata.chiiki@mail.hosp.go.jp
9:00 ~ 17:00 (土日・祝日を除く)



外来担当医表